

子育て支援



✿ 糸島市こども家庭センター「いとハピ」

糸島市こども家庭センターいとハピとは糸島でのハッピーな子育てを支援する妊娠期から子育て期までの専門窓口です。こども家庭センターでは、妊娠、出産、子育て、こどもに関する様々な相談を受け、支援を行っています。

子ども・子育てに関することは、何でも相談できます。相談員が、こどもや保護者などからの悩みや困り事の相談を受け付けます。



【開所日】8時30分～17時15分
(日・祝日、年末年始を除く)

【場所・問い合わせ】

糸島市市民交流センター 1階（前原西二丁目1-2）



✿ 子育て支援センター「ぱかぽか」

子育て支援センターは、親子で気軽に集える場、子育ての仲間づくりの場となるよう、子育て広場や年齢別教室、子育てセミナーなどを行っています。

【開所日】火～土曜日 10時～16時

【場所・問い合わせ】

糸島市交流プラザ志摩館2F（志摩初30）
092-327-2260

<ぱかぽか広場>

対象：主に未就学児（6歳以下）



✿ 桜野通学合宿

桜野コミュニティセンター「さくらの」では毎年「通学合宿」という取り組みが行政区単位で行われます。3泊4日コミュニティセンターに泊まり込み、そこから通学するという合宿で、自立心を養うのが目的。食事の支度や身の回りのことなどは全部子ども達が自分でします。また、地域のボランティア宅の風呂に入る「もらい湯」なども経験し、地域との交流の場ともなっています。



保育所での一時預かり

急用の時、保育所に入所していない子どもを一時預けることができます。

時間・料金などは市のHPを参照して、直接保育所にお問い合わせください。

糸島市ファミリー・サポート・センター（いとしまファミサポ）

子育ての援助をしてほしい人と子育ての援助をしたい人が会員となって、子どもの預かりなど、一時的な子育てを助け合う有償ボランティア事業です。

【問い合わせ】092-332-8717

病児・病後児保育施設「コアラ」

仕事などで保護者が昼間留守にする場合、病気の回復期、または病状の急変が認められない状況にあるお子さん（生後3か月～小学6年生まで）を一時預かりします。

【問い合わせ】092-322-9720



近隣の直売所＆収穫体験施設



●JF糸島 志摩の四季

【場所】志摩津和崎33-1

【営業日時】8時半～17時半
盆正月定休

【電話】092-327-4033



●つまんでご卵直売店 にぎやかな春

【場所】志摩桜井5250-1

【営業日時】9時半～17時 年末年始定休

【電話】092-329-4800



●ファームハウス UOVO

【場所】志摩桜井5134-1

【営業日時】平日 10時～18時 土日 9時～18時

【電話】092-332-0535



●さくらファーム（いちご狩り）

【場所】志摩桜井5966-3

【営業日時】9時～15時(火・木曜定休)

【電話】090-5369-2086

* 営業期間や料金については、お問い合わせください。



桜野の山歩き

桜野校区周辺には、可也山（365m）・立石山（210m）・火山（244m）など、初心者や子ども連れでも登りやすい山があります。標高が低めなので、休日などの森林浴、ハイキングなどにおすすめです。山頂からは玄界灘の広大な景観を望むことができ、眺望豊かな山として人気があります。

市では、皆さんのお供として『糸島の山歩き』という登山マップを作成し、観光協会などで配布していますので、ぜひご活用ください！（マップは市HPでもご覧になれます）

市内を巡る暮らしに便利な交通MAP！

JRやバスなどの市内公共交通機関の路線図、時刻表を掲載した「分かりやすく」「使いやすい」糸島市公共交通ガイドをご活用ください！

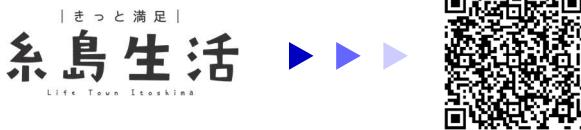
地域のてびき（桜野校区）

発行：糸島市コミュニティ推進課 ☎ 092-332-2062 (*令和7年5月作成)

地域のてびき



桜野（さくらの）校区



桜野(さくらの)校区



基本情報

●最寄駅：JR波多江駅、九大学研都市駅

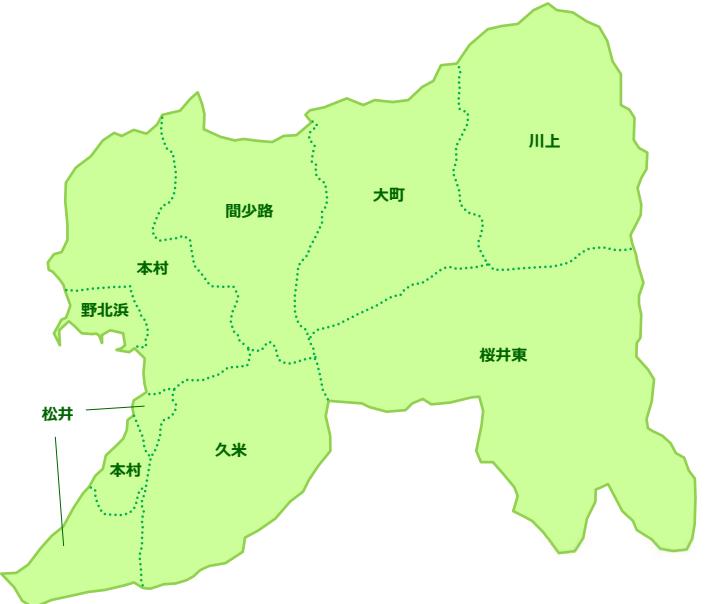
●人口：2,228人

●世帯数：1,024世帯

●行政区名：桜井東（さくらいひがし）／川上（かわかみ）
大町（おおまち）／久米（くめ）
松井（まつい）／本村（ほんむら）
野北浜（のぎたはま）／間少路（ましようじ）

●小中学校：桜野小学校／児童数110人・学級数10
志摩中学校／生徒数419人・学級数21

※人口・世帯数は令和7年3月末、小中学校の情報は令和7年5月1日現在



◆校区・行政区とは？

糸島市には小学校が16校、中学校が6校あり、小学校の通学範囲を「小学校区（校区）」といいます。また、市からの連絡文書の配布・回覧など市政の円滑な運営を図るため、市域を164の「行政区」に分けており、各行政区域内では自治組織（自治会・町内会）が形成されています。主に小学校区・行政区単位で、お祭り、伝統文化の継承、清掃活動、安全パトロールなど、安心で住みよいまちづくりのため、様々な地域活動が自主的に取り組まれています。特に、大規模災害など、いざというときに頼りになる「地域のきずな」を大切にし、地域住民の連帯意識の向上に努めています。



◆自治組織に加入するには？



加入は、お住まいの地域の自治会長に申し出てください。お住まいの自治会長がご不明なときは、糸島市コミュニティ推進課（092-332-2062）までお問い合わせください。新しいまちでのコミュニケーションの第一歩として、住みよい地域づくりのために様々な活動を行っている「自治組織（自治会・町内会）」に加入しましょう！

※自治組織によって金額は異なりますが、地域交流活動や環境保全活動費等として、自治会費や入会費を納める必要があります。詳しくは自治会長へお問い合わせください。

◆行政区長さん、 地域コーディネーターさんがいます！

各行政区には、その区をとりまとめる区長さんがいます。また、生活に密着した地域の情報提供や、日々の生活に関する不安や疑問の解消を目的に、地域コーディネーターさんも配置しています。区長さんや地域コーディネーターさんに聞いてみたいことがあれば、お気軽に糸島市コミュニティ推進課（092-332-2062）までお問い合わせください。



糸島

のシンボルとも言える夫婦岩があり、美しい海岸線はマスコミでもよく取り上げられるほどの人気スポット。週末になると海岸沿いのカフェはどこにもぎやかです。夏は海水浴客が多く、四季を通して多くのサーファーが最高の波を探して訪れます。海と山の新鮮な幸が一度に楽しむことができ、花の栽培も盛んな校区です。



ここが桜野校区の特長！

◆二見ヶ浦「夫婦岩」（ふたみがうら「めおといわ」）

二見ヶ浦は、市の北部に位置し、夫婦岩が海岸から約150mの海中にそり立っています。古くから櫻井神社の社地として神聖な場と敬われ、毎年5月には長さ30メートル、重さ1トンの大注連縄（おおしめなわ）が張られます。この2つの岩は、古くは竜宮の入口として親しまれ、夏至の頃に夫婦岩の間に沈む夕陽の景観は格別です。

◆サンセットロード

二見ヶ浦から加布里湾まで33.3kmに及ぶサンセットロードは四季折々の顔を見せてくれます。玄界灘を一望できるレストランやカフェが人気で、ドライブコースとして多くの観光客が訪れます。

◆櫻井神社

1632年に黒田家二代藩主・黒田忠之公によって創建され、筑前国での信仰の拠点でした。日本古来の伝統的な手法である桧皮葺き（ひわだぶき）の屋根が特徴の本殿には豪華で美しい彫刻が施され、拝殿、楼門（ろうもん）と共に県文化財に指定されています。静寂に包まれ神聖な気持ちになれるスポットとして、多くの人が訪れています。



◆流鏑馬（やぶさめ）

櫻井神社の新嘗祭（にいなめさい）で行われる行事。農耕馬の無事を願うもので約380年間続いている。弓矢を持った騎馬武者が、およそ150mの参道を駆け抜けながら、白羽の矢で3カ所の的を射ます。流鏑馬の後は、地元園児による稚児行列も行われます。

◆餅押し

若者たちが、厄に見立てた大餅を、締め込み姿で水を浴びながら激しく奪い合う初春祭です。この祭りは厄除けと招福を願って江戸時代から行われており、餅を持って帰った人には福が来ると言われています。早朝より福引が行われるほか、櫻井神社の楼門の辺りでは厄年の人たちが参拝者に酒を振る舞い、一般の方にも小さな餅が配られます。



◆九州大学伊都キャンパス

桜野校区に隣接する九州大学伊都キャンパスが開校したのは平成17年10月。糸島市では、これを契機として、大学の持つ知力と活力を積極的に取り入れたまちづくりを展開しています。桜野小学校では、九大連携の一環として九大の先生や学生さんに天体望遠鏡で土星を見せてもらいうイベントや、留学生の方に自分の国の話をしてもらう異文化交流などが行われています。最近では、古民家を改築した学生寮もオープンし、地域と九大生が交流しています。

◆桜野小学校の「小規模特認校」制度

桜野小学校は令和6年度より、「小規模特認校」制度を導入しています。「小規模特認校」制度は小規模な学校で学びたい、子どもを学ばせたいという希望者に対して、所定の要件のもと、校区外から通学することを認める制度です。詳しくは市の教育総務課（092-332-2091）までお問い合わせください。



左/サンセットロード沿いのレストラン 右/櫻井神社餅押し